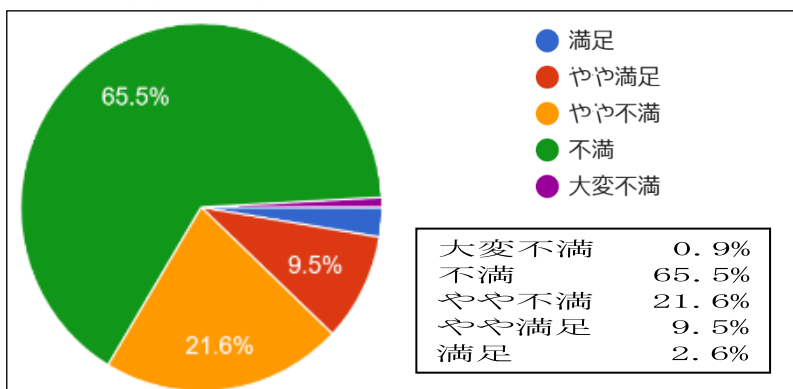


賃金
アンケート
結果から

JR世代社員の不安・不満が明らかに

賃金アンケートへのご協力ありがとうございました

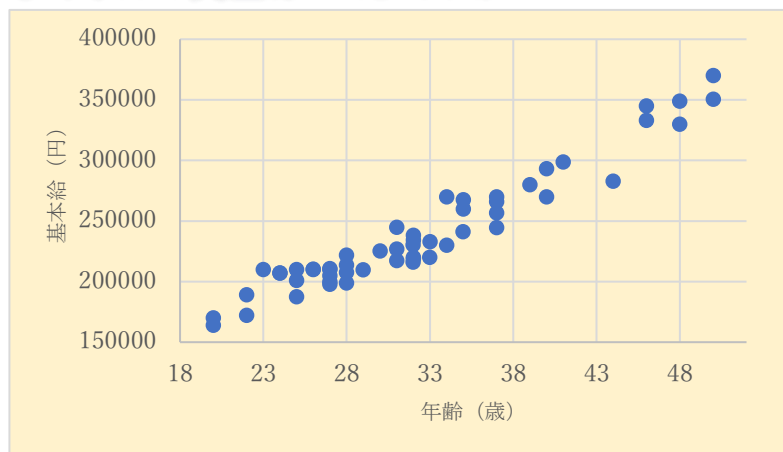
◎今の賃金に対してどう感じていますか



昨年は、不満とやや不満がほぼ同じ割合でしたが、今年は不満が倍増しました。

一昨年の定昇半減や一時金の削減に対して不満が大きくなっていると思われます。加えて物価高騰により、生活が厳しくなっていることを表すものとなっています。

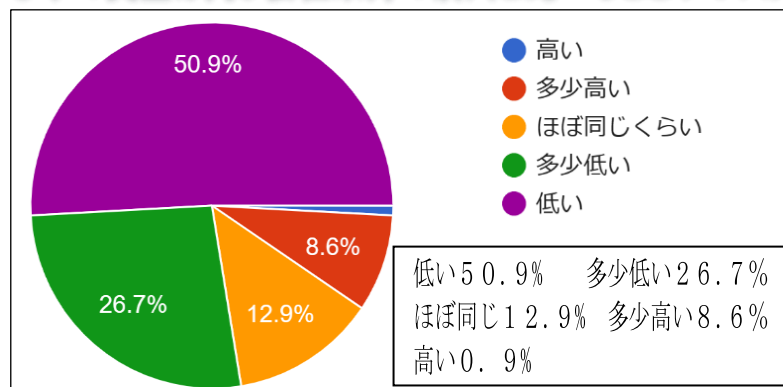
◎あなたの賃金はいくらですか



JR世代社員120名の賃金実態から図表化しました。年功序列賃金体制となっていますが、同じ年代でも基本給の幅が広がっていることが分かります。

寄せられた声からは、試験制度に透明性がなく、不合格の理由も告げられず、この試験制度自体どうなのかという疑問の声が出されています。

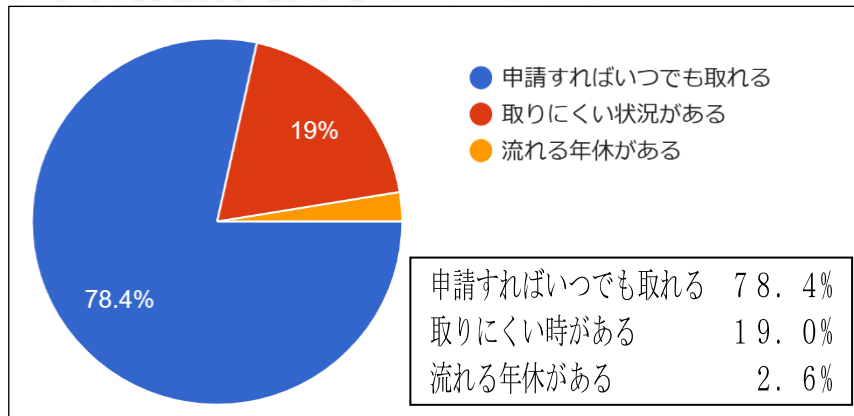
◎今の賃金は同じ会社以外の友人と比べるとどうですか



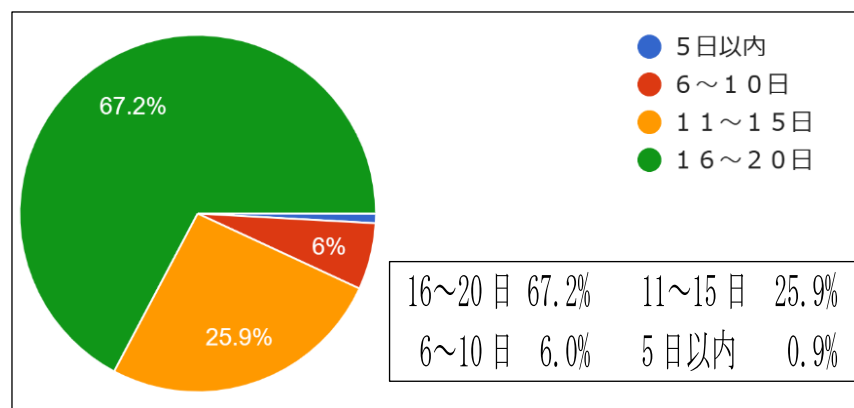
安定しているJR東日本と思い入社したものの、入社して感じているのは、基本給が低く手取りが少ないと感じる社員が多いことです。

何とか一時金で凌いでいたのに、一時金が削減されてきたことが離職者の増加につながったことは間違いありません。

◎年次有給休暇は取れていますか



◎年次有給休暇は年間で何日取りましたか



今回のアンケートでは、「柔軟な働き方の実現」が導入され、「融合」と「連携」が進む中で、会社が年休や休日について、これまで同様に対応できるようにしていくとしていたことから、状況を把握するために年休の取得について答えていただきました。

結果は、今のところは8割の社員が申請した日に年休が取得出来ていることが分かりました。しかし、2割の社員が「取りにくい状況がある」と答え、「5日以内の取得」「流れる年休がある」との回答もありました。

気兼ねなく休める職場にするために、今後も調査を続けることが必要となっています。

◎会社に伝えたいことを記入してください(一部のみ掲載)

- ・物価高騰で毎月赤字になり、貯金を取り崩している。その貯金も一時金削減で減るばかり。黒字になったのなら物価高を上げてもらいたい。
- ・試験制度に透明性がない。主任職までは、自動昇格に。
- ・賃金は低いまま仕事内容がどんどん増えているので、働く意欲が湧いてこない。
- ・減額された定期昇給の回復。福利厚生 of 改悪反対、更に拡充を。労働条件改善。
- ・給与が上がらないなら転職を検討する。
- ・離職率が右肩上がりなのに、改善する傾向が全くない。転職したい気持ちが強くなっている。
- ・住宅ローンと教育費で呆然自失なんとかして。要員が足りず休日出勤(呼び出し)が常態化し若手が次々辞めていく。まともなお金の使い方をして！
- ・様々な仕事の負担を課すのであれば、それに見合う報酬を検討してください。
- ・給料を増やさずに労働力だけ搾取しようとしても、どこかで歪が生まれると思います。
- ・合理化、人員削減などで仕事量は増えて賃金は低下。賃金が低下すればやる気も低下します。
- ・物価が上がり生活が大変。13000 円の賃上げでは間に合わない。外国からのお客も増えて忙しくなってきた。オフピーク定期券の導入で職場は不安で一杯だ。夏の一時金は大幅アップを願う。
- ・この社会的な賃上げムードの中で賃上げをしない判断は社員のモチベーションに大きく関わる問題であり、今後 JR への就職を検討している有望な人材が東日本は避けるという判断に繋がりがかねない。
- ・住宅援助金などが期間制限で無くなり、生活が大変になった。その分の賃上げをしてもらいたい。

今年は、これまで高評価していた社友会でさえ賃上げを求めています。それが未加入者の本当の声であり、求めなければ社友会が持たないとみたのだと思われます。

国労は今後も社員の声を伝え、労働条件の改善に向け取り組んでいきます。みなさんの声を国労にお寄せください。